

# 笠間に息づく 匠人

しょうじん

市内には、それぞれの分野で匠（職人）といわれる方がいます。このコーナーでは、技を極めその技を次代に継承していくため日々精進している方を紹介します。

いしかわひろゆき

石川博之さん（稲田）酒造工：杜氏

岩手南部杜氏の伝統を継承する「南部流常陸杜氏」として市内酒蔵で酒造りをする石川さん。仕込みが始まる11月からは、原料となる米の選定に始まり、しぼった新酒を貯蔵するまですべての工程において神経を研ぎ澄ます。発酵の微妙な変化を見極める「麹菌や酵母菌との対話」が酒づくりのポイントという。

丹念に造られた日本酒は、昨年10月に行われた第82回関東信越国税局酒類品評会で吟醸酒の部計221点の中から地元杜氏では初の県代表となる「総代」を獲得。

「酒は楽しく」一人でも多くの方に地元の日本酒を味わっていただき、ファンになってもらえればと話していました。



醗酵状況の確認をする石川さん

「総代」を  
獲得した吟醸酒



洗米後の浸漬  
(シンセキ=米  
の水分調整)  
にて米の吸水  
率を確認

「蔵人の技と心」  
すべてにおいて  
旨さを追求した  
逸品。



## フォトコレクション 2012.5

### 笠間つつじまつり



▶ 4月21日 から5月20日までのつつじまつり期間中は、悪天候もあった中、多くの来園者が訪れました



▲ つつじ公園の眼下には、笠間地区の街並みが広がります



▲ 雨にぬれるつつじ

▶ バルーンアートに並ぶ子どもたち



### 笠間の陶炎祭



▶ 第31回笠間の陶炎祭が4月29日から5月5日まで行われました



▲ 期間中は約34万人が来場し、多くの方で賑わいました



▲ 200店以上の店舗が軒を連ね、個性あふれる作品が出そろいました

▶ 恒例の「土面オークション」では、かさま観光大使も活躍!

